



Uwasamon うわさもん



益城の若もんも、がまだしょっぱい！

町でうわさの若者を紹介。
夢に向かって全力で進む若者を応援します。

頑張っているもの

相 撲（超軽量級）

にしもと よ
名前 **西本みな代さん (18)**

行政区 **田 原**

文徳高等学校3年生

部活動／相撲部

第8回全日本中学生女子相撲大会準優勝

第17回全日本女子相撲選手権軽量級3位

第18回全日本女子相撲選手権軽量級3位



「初めての相撲は小学校4年生の高遊原相撲大会です。6年生を相手に勝ち進み、個人戦で3位に入賞しました。そのときに勝つことの楽しみを知り、ずっと相撲を続けています」と話すのは、文徳高等学校相撲部3年生の西本みな代さん。

中学時代は柔道と相撲の練習を両立させ、3年生時に出場した全日本中学生女子相撲大会では、軽量級で見事に準優勝の成績を残した。

文徳高校への進学は、現在籍を置く相撲部顧問の本田浩二先生の強い勧めがあったから。高校1年生から持ち前の実力を発揮し、全日本女子相撲選手権大会では2年連続で3位に入賞。10月26日に開催される高校生活最後の大会に挑む。

「高校生として出場する最後の大会。今年は、あと一勝して必ず決勝の舞台に立ちたい。目指すは優勝です」と闘志をみなぎらせるみな代さん。「大会までは相撲中心の生活を送りたい」と続けた。

「私の好きな言葉は、目は高く、頭は低く、心は広く。これは全日本女子バレーの長岡望悠選手の座右の銘です。初めてのこの言葉を聞いたとき、『これが私の目指す人生像だ』と感銘を受けました。この言葉を胸に、体力が続く限り相撲を続けたい」「競技人口を増やすこと」も目標という。「女子相撲の底辺拡大が私の一番の目標。地元の子どもたちにも相撲の楽しさ、面白さを教えてあげたい」

来春から岐阜県の大学へ進学し、新しい地で羽ばたこうとするみな代さんの瞳は、大きな夢や目標を見据えていた。